

公益財団法人 8020 推進財団

平成 24 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： 歯周病と糖尿病の係わりに関する普及啓発事業

継続事業 (3 年目)

2. 申請者名： 社団法人 東京都歯科医師会

会長 浅野 紀元

3. 実施組織： 社団法人 東京都歯科医師会

成人保健医療常任委員会

4. 事業の概要：

8020 の実現を目指した健康づくり実践のため、生涯にわたる歯と口腔の健康保持・増進を図る。

特に成人期における歯周疾患の早期発見と、歯周病が引き起こす全身疾患（糖尿病等）へのリスクを広く都民に啓発するとともに、会員および他職種への医療連携のひとつとしての認識の普及啓発も図る。

については、歯周病と糖尿病の関わりについて、まずは、歯科医師への知識の研鑽を図ると共に、東京都医師会の協力を得ながら、多職種を中心とした講師の下、会員診療所の患者や地域住民への周知を行い、さらに、都民を交えた講演会を実施し、口腔と全身の相互の関係について認知度を高める取組を行う。

5. 事業の内容：

一昨年度（平成 22 年度）からの継続事業（3 ヶ年計画-3 年目）として、口腔と全身の相互関係について認知度を高める取り組みを行っており、本会で作成したリーフレット“お口のケアが全身をまもる—歯周病と糖尿病の不思議な関係—”を活用し、江東（葛飾区歯科医師会）、多摩（調布市歯科医師会）ブロックにて歯科医師向け講習会を実施した。

（地区歯科医師会を 6 ブロック（中央・江東・城西・城南・城北・多摩）に分け、3 年間の継続事業として 1 年間で 2~3 ブロックごとの講習会を行った。）

講師には医師・歯科医師・管理栄養士と 3 職種を呼び、それぞれ異なる立場から『歯周病と糖尿病の関係』についての講演をいただいた。

なお、今年度（平成 24 年度）は、今後の地域医療連携を推進させるため、受講者に『糖尿病連携手帳』を配布した。（提供：東京都医師会）

6. 実施後の評価（今後の課題）：

本事業は、糖尿病の合併症に“歯周病”が加わったことから、3 ヶ年事業として、『糖尿病と歯周病』の関係について、広く地域へ周知することから始まった。その中で、歯科の分野だけでなく、東京都医師会にも協力いただき、医科の立場からも、また、他職種として管理栄養士からも講演いただき、幅広い知識の研鑽を図ることが出来た。

加えて、事業を進めていくにあたり、地域における医科・歯科の医療連携が重要ということを再認識し、今後においては、各地域の歯科医師会の他、医師会や行政にも協力いただき、医療連携の場の充実を図ることが、重要と考える。